國學院大學文学部講演会

Tobit Nauheim 氏 (ドイツ・ボン大学地理学研究所・講師)

J.J.Reinの日本旅行日記1873-75

ドイツ人地理学者がみた明治維新期の地方と産業

2022年10月1日(土) 15:00~17:00於 PC05教室(渋谷キャンパスAMC4F)オンライン併用〈ZOOM・要事前登録〉

事前登録用フォーム https://forms.gle/Mc9BSdWWcy1RJkS58



Johannes Justus Rein (1835-1918) Archiv Dr. Jürgen Schwalm

プロイセン政府の命により、明治6~8年にかけて日本の伝統産業を調査したライン博士(のちボン大学地理学教授)。彼は日本政府の特別な許可を得て、同時代の西洋人が訪れることのできなかった地方にまで足を延ばし、漆器をはじめとする様々な工芸技術を学び記録するとともに、多くの人々との交流を果たしました。

その行程や見聞を克明に記録した手書の日記は、先年ついに全文が解読され、翻刻公刊されました(ドイツ語)。日記には、西洋人科学者が体験した明治維新期の日本の社会の一断片が、忌憚ない筆で綴られています。

今回の講演会では、この日記の解読にあたったドイツ・ボン大学の新進気鋭の歴史地理学者、トビット・ナウハイム氏が、日記の意義やライン博士の調査活動とそれを支えた人脈、そして彼の日本観の変遷などについて、様々なエピソードを交えて論じます。

(講演は英語、翻訳ペーパー付)